

Click!  
Webから入会手続きを行う

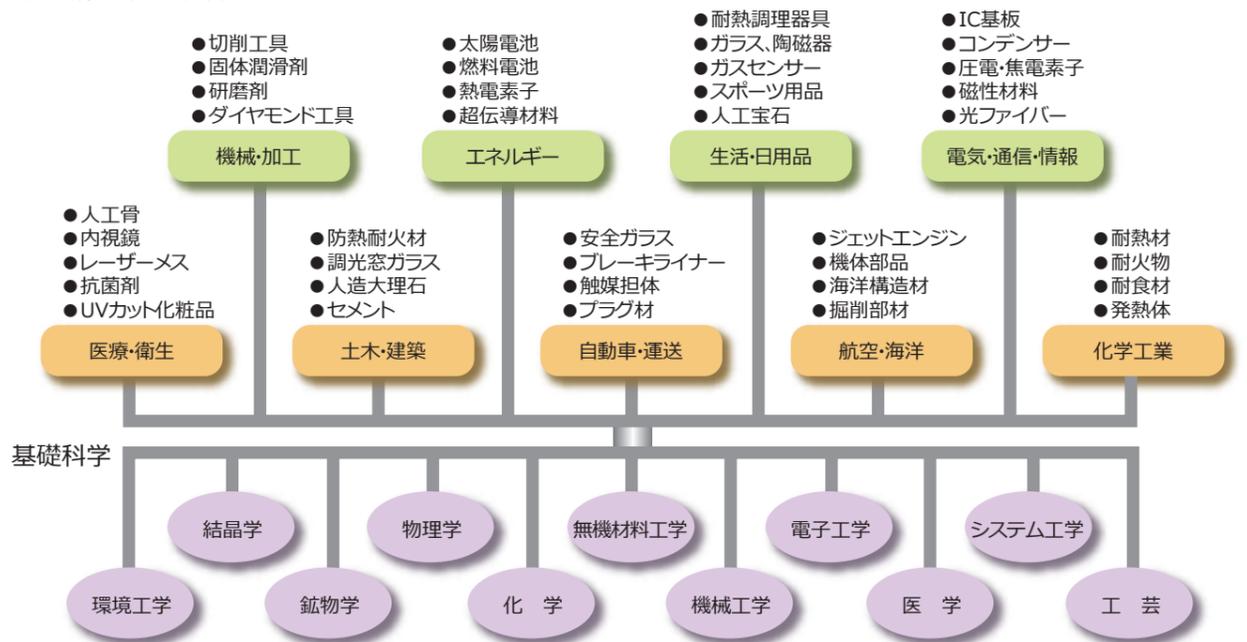
## 日本のセラミックスの歴史

陶磁器・ガラス・耐火物の発展が、セラミックスの歴史の根幹を作っています。  
日本の磁器の発展は、江戸時代初期、李参平が有田で磁器の製造に成功したことに始まります。明治時代には、ドイツ人ワグナーらを通して、ヨーロッパの進んだ陶磁器製造技術が導入された近代化が進められ、今日、世界有数の陶磁器生産の基盤となりました。

一方、ガラスの製造法は、17世紀にオランダより伝えられ、19世紀末には、官営のガラス製作所が設立されるなどして、近代ガラス工業が確立されました。板ガラス、光学ガラスの工業化は、20世紀初頭に始まり、今まで、世界でも最高水準の品質を誇っています。耐火物は、製鉄、陶磁器、ガラス、セメント製造の炉に不可欠で、19世紀末から産業用の耐火物の製造が始まり、これらの産業の発展に大きく寄与しました。製造されたセメントも重要なセラミックスで、土木建造物の主要な材料です。

これら伝統的なセラミックスの製造には、加熱のため窯(かま)が使われていたため、窯業(ようぎょう)と呼ばれるようになりました。1940年代から、電子・磁気・光学材料、非酸化物系材料、高純度材料など、原料と製造過程を厳密に制御して生産する「ファインセラミックス」が出現し、その機能を生かした暮らしを支える様々な実用製品は、現在の多くのライフスタイルの実現に貢献しています。

## セラミックスの世界



## セラミックスの将来

セラミックスは、化学安定性、耐久性が高く、資源的にも問題が少ないため、資源・エネルギー・環境問題に果たす役割は、ますます大きくなっています。今後、電子・分子レベルでの精密な制御による新材料、新機能材料の創製が、機械・電子産業・医学等の技術革新を支え、地球環境に調和した人類の生活向上に寄与していくことが期待されます。



[所在地]  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-17  
JR新大久保駅(山手線)より徒歩約7分  
JR大久保駅北口(総武・中央線各駅停車)より徒歩約6分

公益社団法人日本セラミックス協会  
<http://www.ceramic.or.jp/>

[電話]  
03-3362-5231 総務・経理・会員窓口  
03-3362-5232 年会・秋季シンポジウム  
03-3362-5233 出版・書籍

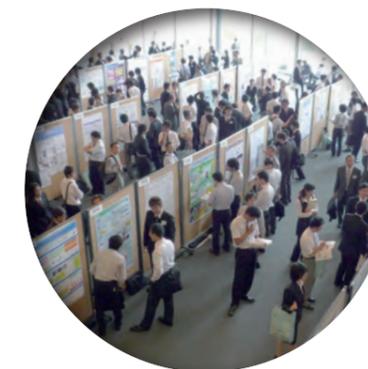
[FAX]  
03-3362-5714 共通

[入会お問合せ]  
member@ceramic.or.jp 会員係

[各種お問合せ]  
Googleフォームより  
<https://forms.gle/ixEYMZrL574P4cMJ7>



問合せフォームQRコード



# 案内

公益社団法人日本セラミックス協会  
The Ceramic Society of Japan



Click!  
Webから入会手続きを行う

# 公益社団法人日本セラミックス協会の概要

## 創立からの歩み

日本セラミックス協会は、セラミックスの産業及び科学・技術の発展を目的として1891年(明治24年)に創立された、セラミックスに関するわが国唯一の総合的な学術・産業共同の団体です。125年を越える活動の積み重ねを経て、セラミックスは工学の重要な学問分野の一つとして確立されました。

セラミックスは、原子・分子レベルの結合と配列の精密な制御の研究を通じて、新物質、新材料、新機能素子への開発・発展につながっており、ナノテクノロジーの基幹技術になっています。

当協会は、無機・有機・鉱物・化学・物理・電子・土木・医療・工芸など広範な分野の方々が入会しており、種々の研究発表会・討論会・講習会を開催して、最新情報の取得・交換・発表の場を提供しています。

## 会員種別

正会員・・・本会の目的に賛同して入会する個人及び法人並びに団体  
学生会員・・・本会の目的に賛同して入会するもので学籍を有するもの

## 主な出版物

「Journal of the Ceramic Society of Japan」(月刊)：論文誌  
「セラミックス」(月刊)：協会誌  
「Journal of Asian Ceramic Societies」(季刊)  
教科書副読本、一般向け書籍など多数



## 主な行事

- 日本セラミックス協会年会(3月)
- セラミックス基礎科学討論会(1月)
- 秋季シンポジウム(9月)
- 各支部部会の研究発表会、討論会など

## 主なホームページコンテンツ

- セラミックス博物館等、各種啓発コンテンツ
- セラミックス誌詳細検索、研究者検索システム(会員向け)



## 年表

- 1891(明治24年) ・窯工會創立
- 1892(明治25年) ・大日本窯業協会に改称  
・大日本窯業協会雑誌発行
- 1927(昭和2年8月25日) ・商工省より社団法人として認可
- 1942(昭和17年) ・協会賞(学術賞、技術賞)制定
- 1946(昭和21年) ・社団法人窯業協会に改称  
・会誌を窯業協会誌に改称
- 1952(昭和27年) ・日本窯業連盟を合併
- 1964(昭和39年) ・協会賞(功労賞、進歩賞)制定
- 1966(昭和41年) ・セラミックス誌創刊
- 1967(昭和42年) ・セラミックス賞制定
- 1980(昭和55年) ・協会賞(功績賞)制定
- 1987(昭和62年) ・社団法人日本セラミックス協会に名称変更
- 1988(昭和63年) ・窯業協会誌を日本セラミックス協会学術論文誌と改称  
・日本セラミックス大賞制定
- 1991(平成3年) ・創立100周年
- 2001(平成13年) ・協会賞(技術奨励賞)制定  
・21世紀記念国際交流個人冠賞制定
- 2003(平成15年) ・PacRim5(環太平洋セラミック会議)主催  
・AOCF(アジア・オセアニアセラミック連盟)設立加入
- 2004(平成16年) ・第20回国際ガラス会議主催
- 2005(平成17年) ・第1回AOCF国際会議開催
- 2010(平成22年) ・公益社団法人に移行  
・第3回国際セラミックス会議(ICC3)主催
- 2015(平成27年) ・フェロー表彰制度制定
- 2016(平成28年) ・創立125周年
- 2019(令和元年) ・PacRim13(環太平洋セラミック会議)主催

## 日本セラミックス協会のロゴマーク

協会の英語名称の頭文字  
"The Ceramic Society of Japan"  
"CSJ" をデザインしたものです。



Click!  
Webから入会手続きを行う

# 協会の活動内容

## 学術研究成果の交流と学習機会の提供 (会員でない方も参加されています)

会員の研究成果発表の場として、またセラミックスに関する科学・技術の情報交流を目的として、春には年会、秋にはシンポジウムを開催しています。

また、基礎技術あるいは時代に適合した諸問題について、専門性やレベルに応じた講習会・セミナー・講演会等を全国各地で開催しています。

これらの企画は、会員の知識の向上や生涯教育、特に企業の研究開発従事者の教育に重要な役割を担っています。



## 専門分野に取り組む部会活動と 地域に貢献する支部活動

専門分野別の9の部会を組織しており、会員は希望する部会に登録し、部会の講演会、討論会、見学会等の行事に参加して、先端的技術動向を知る事ができると同時に、専門家同士の交流を深めることができます。萌芽的研究については別に研究会があります。また、居住する地域によって全国7つに分かれた支部に所属し、技術的な研究会ばかりでなく、最新鋭の工場から地域文化漂う窯元などを訪れる見学会などもあります。

## 国内・海外との交流と協調



セラミックスに関する内外の関連機関・団体と交流し協調を行っております。国内では日本学術会議(日本学術会議協力学術団体として認められています)、関連学術団体、関連産業団体と連携し、また海外のほとんどの国のセラミックス学協会と交流しています。国際ガラス委員会(ICG)、国際セラミックス連盟(ICF)およびアジア・オセアニアセラミック連盟(AOCF)では日本代表団体として活動しています。

## 表彰制度

セラミックスの産業及び科学・技術に関する功労者の表彰をしています。業績分野・内容に応じて日本セラミックス大賞、日本セラミックス協会功績大賞、功労賞、学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞、セラミックス貢献賞、フェロー表彰、国際交流奨励賞等があり、受賞者は各界から高い評価を受けています。



## 会誌の刊行と図書出版 およびホームページ



セラミックスを取り巻く広範な動向解説に会報を兼ねた協会誌「セラミックス」、研究成果の発表が主体の「Journal of the Ceramic Society of Japan」、他のアジアの学会と共に発行する「Journal of Asian Ceramic Societies」があり、協会誌は希望により冊子版もしくは電子版にて会員に配付され、ジャーナル2誌は会員に配信されるとともに、一般向けにもオープンアクセスとなっています。また、種々レベルのセラミックスの学術・技術・教育・普及に関する書籍等も編集・出版しています。一方、当協会のホームページには、我々の生活に重要なセラミック材料への理解を深めるためのコンテンツを掲載し、セラミックスに関する知識の普及に努めております。

## 標準化・規格化

本会は協会規格の作成や JIS 規格原案作成団体としてセラミックス分野の標準化で中心的な役割を果たしています。また、協会作製の認証標準物質は、複数の分析機関による分析結果の統計処理値を分析値とし、RMinfo や COMAR にも登録されており、内外で信頼性が高く評価されています。



Click!  
Webから入会手続きを行う